

〔優秀賞〕

◇ 私が思う男女共同参画 ◇

石塚小学校 6年 茂木 新愛

男女共同参画社会とは、男女がお互いを尊重し合って、あらゆる分野の中で、性別にかかわらず、能力を十分に発揮することができる社会です。私は、男女がお互いを尊重し合うというところが特によいと思いました。

私のクラスはどうだろうと自分の身近なことから考えてみました。思いついたことが、四つあります。

一つ目は、男女が得意なことを生かして、協力して助け合っているということです。運動会では、クラスで「おたがいを思い勝ち負けなし最高の石塚魂を見せよう」とスローガンを作り、取り組んだことで、だれもが楽しい最高の思い出をつくることができました。また、ふだん私が重い荷物を持っていた時男子が手伝ってくれたり、逆に細かい作業が苦手な友達を私が手伝ったりして、おたがいがおたがいを大切にし、支え合って協力することもできています。

二つ目は、尊重し合っていることです。男女関係なくちがった意見や考えを言い合うことができます。それは自分とちがう意見を受け入れてもらえるから、安心して意見を言えるのだと思います。

三つ目は、性別にかかわらず授業に取り組んでいることです。家庭科の担当は男性の先生です。私の姉のときは、女性の先生が担当をしていたそうです。男性の先生も担当することで、家庭科という教科が女性のものであるという印象がなくなると思います。同級生

の男子も家庭科の授業が好きで楽しそうに取り組んでいて、料理などが得意な人もけっこういます。

四つ目は、男女の区別がなくなったことです。昔の出席番号は、男子が先で女子が後だとお母さんから聞きました。でも今は、男子も女子もいっしょに混ざっている出席番号に変わっています。このように何でも男子が先というのはなくなり、女子との格差がなくなったように感じるからです。

考えてみると、私のクラスは、男女がお互いを尊重し合っているのかなと思います。でも一つ、よくないと思うことがあります。それは、グループをつくる時に仲がよい女子同士、男子同士になってしまうことです。もっとよいクラスにするために、自分たちができることが、二つあると思います。それは、小さな事でもみんなで喜びや責任を分かち合い、支え合い協力していくことです。そして、「自分らしさ」を失わないことです。これらのことに取り組み、修学旅行をはじめ、運動会のように最高の思い出をたくさん残していきたいです。

大人になると、変えていくのは難しいのかもしれませんが。だから私は、今から少しでも男女共同参画社会の一員として力になれるように取り組んでいきたいと思います。